

XIII. 派遣交換留学生 就職活動記

三菱商事株式会社

神部 邦明

法学部法律学科（派遣時3年、2013年3月卒業）

留学期間 | 2011年1月～2011年8月

留学先大学 | 3キャンパス合同東アジア研究プログラム（韓国・中国）

履修科目数（各学期） | 慶應：3科目、延世：5科目、香港：2科目



マカオで香港大学の学生と

遡及進級しましたか？	しませんでした。就職活動とゼミにしっかりと取り組みたかったためです。
就職活動の開始時期は？	帰国後2度目の3年生の秋の2011年9月頃です。
内定はいつもらいましたか？	2012年4月
留学が進路・就職先等と与えた影響はありますか？	留学したから就職先が決まったわけではありませんが、強みになったと思います。特に3キャンパスプログラムならではの交換留学であることと、付随するNPOでのインターンは大きな影響を与えたと思います。
留学はどのように就職に役立ちましたか？	留学前から商社マンになりたいと思っており、海外での経験が多くない私にとって留学は必須であると考えました。留学中は、海外の三田会の方にお伺いしたり、現地の学生と話すことで多様な就職の選択肢を検討することができました。また就職活動では、留学の経験、それ自体も評価されますし、そこで身に着けた語学力、コミュニケーション能力、また交換留学という大きな決断をし、努力すること、前に進む力が評価されたと思います。
留学が就職に不利に働いたと思ったことはありますか？また、それをどのように克服しましたか？	まったくありません。むしろボストンキャリアフォーラムなどにも行けますし、そこで普通の就職活動生より早く内定を取ることも可能です（企業によります）。

＜就職活動と交換留学＞ 交換留学をする以前は、就職活動を理由に半年間も決断できずにいました。しかし、あるスイスー東京便の飛行機で出会った海外で活躍する俳優の方に、「これから日本を引っ張っていくであろう慶應の学生が外に出なくてどうする？出なさい。私はあなたの健闘を祈ります」と言われたことで、最後の決断をし、TOEFLの勉強を死に物狂いでしたのを今でも覚えています。

世界を見渡してみれば日本の状況は大きく変化しています。日本の企業が海外進出を加速し、「日本人」の採用を減らしている状況を鑑みれば、「日本人」というステータスはもはや通用せず、世界で優勢に戦っていける人材が必要とされていることがわかります。また今後、人種や国籍を超えて人材が流動的になれば、その傾向はますます強まるでしょう。これから留学を考えている学生の皆さんには、目先の小さな就職活動や友人関係などの問題ではなく、世界を俯瞰しながらより高い目線で留学を検討してもらえればと思います。

今このガイドブックを読みながら就職活動を理由に交換留学を悩んでいるのならば、私は自信を持って「交換留学を選択しなさい」と言います。留学までのプロセスや留学の経験、そして留学による成長は自分の生き方に変化を及ぼしますし、就職活動でも役立つでしょう。皆さんが素晴らしい留学生活を送られ、後悔のない就職活動をされることを願っております。



韓国で延世大学の先生とのウェルカムディナー



延世大学の学園祭にて米国の学生と